

# ほたるっ子



磐梯第一小学校  
学校だより  
NO. 91  
R6. 1.10  
(文責: 校長 菅家 篤)

ドリーム&チャレンジ! ~あいさつ・はっぴよう・なかまとじぶん~

## “しあげ”の3学期&“次の学年の準備”の0学期

保護者の皆様、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨日の始業式では、次の話をしました。凛とした姿で話を聴く子どもたちの姿が印象的でした。

まず、新年早々、胸を痛めたこと、胸を打たれたことについてです。

一つ目は、能登半島地震の被害を伝えるテレビを目の当たりにしたことです。

一年で最も穏やかでゆったりとした元日の大きな地震。何という新年の幕開けか…。

被災地では、続く余震、生活への不安が続き、本当に辛い状況だと思います。

私たちにできることは何か…。

「正しい情報を知ること」「何ができるか常に考えること」「毎日を元気に精一杯生きること」被災された方の状況や辛さを思い、遠く離れていても心を寄せて生活していきたいと思えます。

二つ目は、全国高校サッカー選手権大会準々決勝「市立船橋高校VS星稜高校」です。能登半島地震の影響で、星稜高校の応援団が試合会場に来られなくなりました。対戦相手の市立船橋高校や敗戦した高校などが友情応援をする映像を観た際、目頭が熱くなりました。対戦相手へのリスペクトや被災地を気遣う振る舞いに胸を打たれました。

次に、羽田空港で海上保安庁の航空機と着陸直後の日航機が衝突、炎上した事故において、乗客を全員無事に救出した“奇跡の脱出”です。特に、客室乗務員が非常事態に関してもしっかりと訓練を受けていること、炎に囲まれていない安全なドアを見つけて避難を開始するなど適切な「判断」をしたことについて子どもたちと共有しました。その上で、真剣に避難訓練に取り組むことや“普段から判断力を鍛える”ことの大切さを話しました。授業や生活の中で、「僕はこうする」「私はこう思う」と一生懸命に考えるなど、日頃からトレーニングすることでいざという時の判断力が身に付いていくことを伝えました。



黒板には担任からのメッセージと今年の干支の辰が隆々と描かれていました!

始業式後の6年生の様子です

6年生が卒業するまであと50日です…

早速、3学期のめあてを書いていました。



最後に「3学期はしあげの学期」であり、「次の学年の準備をする0学期」という話をしました。

6年生…小学校最後の3ヶ月。立派な足跡を残し、自信をもって進学する準備の3学期に!

5年生…次の「学校リーダー」となる準備の3学期。さらにレベルアップの3学期に!

4年生…学校をリードする高学年への自覚を高め、自己に厳しく成長の3学期に!

3年生…小学校6年間の半分の総しあげ。しっかり学び、上学年への準備の3学期に!

2年生…低学年から中学年へ、新しい勉強(社会・理科等)に備えステップアップの3学期に!

1年生…1年間の成長を感じ、新1年生を迎え、お兄さん・お姉さんの準備をする3学期に!



子どもたちは、各学級で新年・新学期のめあてや目標を立てます。ご家庭では、お子さんの「なりたい自分」や「つけたい力」を受け止めていただき、お子さんが前向きな取り組みを続けられるよう、勇気づけて(見取りと励まし)いただきますようお願いします。